

第9回

カルンバまつり

2022年7月23日(土)

主催：恵庭市郷土資料館・北海道文教大学共同研究ENIWA学
～カルンバから宮沢賢治の宇宙へ～



①カルンバのまが玉を作ろう!

時間 13:00～14:30 **会場** 恵庭市郷土資料館
対象 小学生以上(3年生以下は保護者同伴)
定員 20名 **参加費** 材料費100円
持ち物 汚れてもよい服装、タオル、あれば敷物
事前申し込みをお願いします。

②土器を作ろう!

時間 15:00～17:00 **会場** 恵庭市郷土資料館
対象 小学3年生以上 **定員** 15名
参加費 材料費：粘土1個(1.8kg)300円、1人2個まで
持ち物 汚れてもよい服装、タオル
事前申し込みをお願いします。

③朗読劇

「銀河鉄道とカルンバの夜のために」

時間 18:00～18:40(40分)
朗読 北海道文教大学共同研究ENIWA学の皆さん
会場 中庭(雨天時は館内ロビー)

見どころ・聴きどころ

10mの巨大ベンガラ染め5本を背景にオリジナルの朗読劇を上演します。宮沢賢治の名作「銀河鉄道の夜」に登場する人物たちが、カルンバの上空を旅する物語。3000年前のカルンバの人びとも登場します。はらかな時の流れを感じていただければ幸いです。

事前申し込みは特に必要ありません。

感染対策

- 受付にて手指消毒・検温をお願いします。
- マスクの着用をお願いします。



お問い合わせ

全体 恵庭市郷土資料館：恵庭市南島松157-2 TEL/FAX 0123-37-1288
朗読劇 北海道文教大学こども発達学科：0123-29-3067 (加藤研究室直通)

デザイン：竹内 智香

* 恵庭市郷土資料館と北海道文教大学「ENIWA 学」

「ENIWA 学」とは、2019年、北海道文教大学の教員・学生有志で始まった共同研究です。アイヌ語の「エ・エンイワ」（尖った岩）と、ENGEKI In Workshop and Activity（演劇的なワークショップや表現活動の意味）の頭文字をとり命名されました。地域の歴史や文化を、未来に続くものとして研究し発表する実践的な地域学です。郷土資料館のご協力を得てすすめてきました。



2019年には、30年前に恵み野小学校の子どもたちが作り上げた『漁川物語』を、学生が朗読劇にして上演・発表しました。2020年には、恵庭の歴史と文化に関する研究フォーラムを開催しました。そして昨年8月、第8回カリンバまつりで、恵庭の子どもたちを対象としたベンガラ染めワークショップを開催しました。今回、朗読劇の背景を飾る垂れ幕がそのベンガラ染めです。さらに10月には、「風と大地の芸術祭2021」として、島松夢創館において3日間連続で、朗読劇「銀河鉄道とカリンバの夜のために」、上方落語（林家卯三郎）、アイヌ民族の口承文芸及び舞踊、講演「中山久蔵と現代」、チーム絆花「中山久蔵翁物語」を上演、開催（出演者・観客含め50名限定）しました。このように恵庭の市民と大学が、地域の文化や歴史を題材として交流し、新たな文化を創造する試みを続けています。

* 今回の朗読劇『銀河鉄道とカリンバの夜のために』について

宮沢賢治の名作『銀河鉄道の夜』は、ジョバンニとカンパネラが、汽車に乗って銀河をどこまでも旅をし、「ほんとうのさいわい」を探しに行く物語です。

二人は車窓から銀河の川原を眺める途中、場所も時代もかけ離れたひとびとに出会います。だから、ふたりを乗せた銀河鉄道は、きっとこの恵庭の、カリンバの上空をも通ったに違いないと思うのです。そして美しいものが大好きだった賢治のことですから、ジョバンニとカンパネラは、朱塗りの漆塗り櫛を身に付けた3000年前のカリンバの人々にも出会ったのではないのでしょうか。『銀河鉄道とカリンバの夜のために』は、そんな着想から生まれました。カリンバの人々と、ジョバンニ、カンパネラはどのようにして出会うのでしょうか。

ぜひお聴きのがしのないよう、最後までごゆっくりお楽しみください。

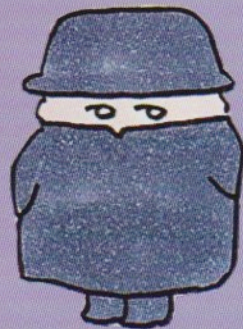
（北海道文教大学こども発達学科教授 加藤裕明）

* ピアノ演奏：西野美穂

北海道文教大学人間科学部こども発達学科教授。関西でのソロ、室内楽等の演奏会をはじめ、恵庭ロートス・ムジークを主宰する。恵庭市内でも毎年、ピアノと名作絵本の読み聞かせによるファミリーコンサートを開催し、好評を博している。

* ポスター及びチラシデザイン：竹内智香（北海道文教大学こども発達学科助手）

「保育士の卵 ワケありにつき〜ちょっとそのカラ破ってみない？〜」で、第56回NHK障害福祉賞「最優秀賞」受賞。エッセイ、イラスト、スタンプ、紙芝居など、こころあたる作品に定評がある。



* 舞台監督：枇本亨洋

昨年の「風と大地の芸術祭2021」でも、舞台製作を担当。江別「ドラマシアターども」を拠点として、劇作・演出家としての活動の幅も広げている。

* ENIWA 学教員：加藤裕明・笠見康大・西野美穂・吉岡亜希子（こども発達学科）

小山田健（国際教養学科）

* 学生：大嶋亮馬・伊藤果・西尾優花・中島大貴（こども発達学科）

野藤颯人・小澤皇・内藤詩音（国際教養学科）

吉川舞乙（健康栄養学科）

